



2018年 No.10

編集
発行

木次乳业有限会社

〒699-1323 島根県雲南市木次町東日登228-2

TEL (0854) 42-0445 FAX (0854) 42-0400

<http://www.kisuki-milk.co.jp>



消費者の思いを届けるタオル。

グリーンコープさんから酪農家の皆さんへ、牛さんの乳頭を拭くタオルが贈られました。

9月20日(木)、毎年恒例となっている『タオル贈呈式』をおこないました。この会は毎年、木次乳业本社で開催していましたが、今年は趣向を変え『ダムの見える牧場』を会場に、牧場見学を兼ねて開催しました。

今年は『グリーンコープ(生協)』さんから12名、酪農家を代表して『奥出雲ほっとミルク』さんから8名の方が出席され、『ダムの見える牧場』の3名も加わり、タオルの贈呈と近況報告などがおこなわれました。

弊社社長・佐藤貞之は「地震や豪雨、猛暑など様々なことが起き大変な世の中ですが、こういう会は一度やめてしまうと復活させることはとてもむずかしいので、これからもずっと続けていただきたいと願っています。誰もが年を重ねていきますが、毎年この場に来て『頑張っているよ』という姿を見せていただくことが、お互いの励みにもなると思います」と話しました。



タオル贈呈式とは

『グリーンコープ生協(島根)』さんが毎年、会員の皆様にご家庭で眠っているタオルの提供を呼びかけ、集まったタオルを、木次乳业の生乳を生産する酪農家さんに贈るもので、毎年開催しています。



(2) モーモータイムズ

表紙の続き タオル贈呈式 消費者と生産者の近況報告



グリーンコープの皆さん

「4年前に関西から木次に移住しました。雲南市に来てみると、大きな牧場で1ブランドの乳を搾るのではなく、小さな牧場で搾られたお乳が集まって木次乳業の牛乳ができていることがわかり、木次乳業をすごく身近な存在に感じています」

「タオル贈呈式に参加すると、酪農家のみなさんがとても深い愛情で牛さんを育てていらっしゃることを感じます。ご苦労も多いことと思いますが、感謝しながら毎日牛乳を飲ませていただいています」

「『ダムの見える牧場』はとてもいい雰囲気で、牛さんがのんびり暮らしていると感じます。飼い主と牛さんがいい関係だとおいしい牛乳ができるのだろうなと思いました」

酪農家の皆さん

「今年は猛暑でしたが牛さんはなんとか頑張って夏を乗り越えてくれました。人間は少しくたびれましたが…まだまだ頑張らないといけないと思っています」

「『ダムの見える牧場』と違い、うちの牧場は雨漏りがしています。でも、いただいたタオルで牛さんの頭を清潔にして搾乳しているので、牛舎はボロでもいい牛乳を出していると自負しています」

「『ダムの見える牧場』にお邪魔し、本当にいい牧場だなと感じました。うちは牛さんを繋いで飼っているので自由に歩かせてやることができません。近所に休耕田が増えたのでそれを利用し、牛さんを牛舎から出し少しでもストレスを発散してあげたいという夢を持っています」



ダムの見える牧場

「『北海道胆振東部地震』のニュースなどで酪農家の話が出たびに、『しんどい』と感じています。

危ういというか、奇跡的なバランスで酪農という産業は成り立っているのだとあらためて思います。電気がなければ乳を搾れないし、搾ったとしても工場が動いてないと出荷もできません。関係者、生産者、大勢の人が働いてやっと牛乳ができるのだなと、身につきました。

牛が健康であること、家族・スタッフが元気でいること、仕事が毎日できていることに感謝しながら酪農をやっていきたいと思います」

日登牧場日記 hinobori bokujou

すっかり秋になりました。

今年の夏は日本全国、大変な暑さでした。

日登牧場は少し標高の高いところにありますが、それでも連日の30℃超え。大型扇風機やミスト機をフル稼働し、牛さんの体温を少しでも下げるようにしていました。

現在のところ獣医さんに診ていただくほどの病気もなく秋を迎える、無事に暑さを乗り切ることができたなど感じています。しかし、例年、病気が出やすいのは、秋口。病気にならないために、肝臓の働きを良くする健康食品のようなものを食べさせています。

日登牧場では、日頃から牛さんをよく観察し小さな変化を見逃さないことが大切と考え、スタッフ間でしっかりと情報共有しながら酪農に取り組んでいます。(日登牧場・水野)



牧場ではあけびや栗などカバ一斉に実をつけ始めました。



←松江市から見学に来てくれた平野缶詰の皆さん。日登牧場のことは知らないで、東京のお友だちから「いいところ」と教えてもらい、来てくださいました。牛さんが隊列を組んで山から帰って来る姿を見て、感動していらっしゃいました。



社員食堂も、実りの季節

新入社員の田植え研修で5月に手植えした稻がことうべを垂れ始め、もうすぐ収穫です。できたお米は玄米ご飯として、木次乳業社員食堂『おまかせや』で10月から提供されます。

『おまかせや』は、現在3人が日替わりで調理をしています。月、木、金曜日担当の基常由紀子に話を聞きました。「『おまかせや』の食事は、とにかく野菜が多いのが特徴です。畑で採れた多種類の野菜を和える、煮る、炒める、揚げるなど、いろいろな調理法を用いてバランスをとりながら、飽きずにおいしく食べただける工夫をしています。また、時間に余裕のない社員もいるので、骨をとった魚を使うなど、食べやすさも考慮した調理を心がけています」



メイン以外はピュッフェスタイル
で好きならだけ。人気がありすぎ
て足りなくなってしまうことも!

「レシピ教えて、と言われ
るととてもうれしく、励み
になります」と基常。

1人で約40人分の食事を作るのは本当に大変!!
昔はロコモコ丼をメニューにして目玉焼を人数
分焼くという大そう手間かかりることもしていました。
今は、手間を省きながら簡単においしいメ
ニューが作れるよう、工夫をしています。(基常)

簡単にできる、『おまかせや』秋のrecipe by Mototsune

さつまいものサラダ 4人分

材料

- さつまいも ……250g
- きゅうり ……1本
- 塩 ……小さじ1/4
- レーズン ……適量
- ☆マヨネーズ ……大さじ3
- ☆ヨーグルト ……大さじ2
- ☆レモン汁 ……小さじ1
- ☆塩・コショウ ……各少量



ポン酢炊込みごはん 4人分

材料

- 米 ……2合
- ポン酢(市販) ……100ml
- お好みの具材
- ☆ツナ缶詰 ……1缶(80g)
- ☆しめじ ……1パック
- ☆にんじん ……1/4本
- ☆ごぼう ……1/8本
- ☆油揚げ ……1/2枚



作り方

- ①さつまいもは輪切りにして蒸すか、または、ラップに包み、レンジで500Wで5分～5分30秒加熱し、加熱終了後にポウルにとって粗く潰す。
 - ②きゅうりはスライサーで小口切りにし、塩をまぶして10分置き、水気を絞っておく。
 - ③①に、②と④、さらにレーズンを入れ、和える。
- ベースがさつまいもだけだと喉に詰まりそうになりますがちですが、ヨーグルトを入れることで柔らかくマイルドになります。

作り方

- ①米を洗って水気を切る。
 - ②お好みの具材を適当な大きさに切る。
※ツナ缶は油と汁を切る。
 - ※ごぼうは笹がきにして水にさらし、水気を切る。
 - ③①を炊飯釜にとってポン酢を入れ、分量まで水を注ぐ。
 - ④③に②を入れ、軽く混ぜて炊飯する。
- ポン酢にいろいろな味が入っているので味付けをする必要がなく、とっても簡単にできるメニューです。お好みの具材でアレンジを。

畜産ふれあいまつり2018 ～第12回しまね牛乳まつり in いづも～

開催日時／2018年10月13日(土) 10:00～15:00

場 所／畜産技術センター

島根県出雲市古志町3775 TEL(0853)21-2631

①展示コーナー

・試験研究内容、動物画コンクール入選作品

②体験コーナー

・アイスクリームづくり、バターづくり・乗馬など

③お楽しみ企画

・お絵かき広場 ・堆肥無料配布

④農畜産物等販売コーナー

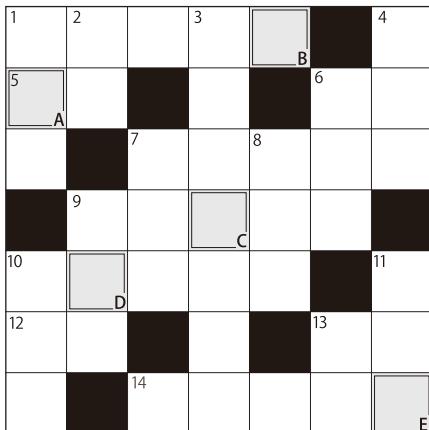
・牛乳料理、牛乳・乳製品、野菜、農産加工品等・手打ちそばなど

日登牧場から派遣中の
子牛さんも待っています

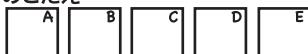
木次乳業も出店します。ぜひお越しください。



『乳製品Bセット』が当たる クロスワードパズル



クイズのこたえ



マスにカタカナを入れて言葉を作ってください。

乳製品Bセット

- 牧場のカスタードプリン×4
 - きすきヨーグルト×4
 - ノンホモ牛乳(ビン)900ml×1

正解者の中から抽選で3名様に
プレゼント！



タテのカギ

- ① 父親はロシア人とポーランド人のハーフ、母親は日本人。
ニュージーランド生まれのタレント、『藤田○○○』。
 - ② 橋幸夫と吉永小百合のデュエット曲、『いつでも○○を』。
 - ③ ニューヨーク：マンハッタンにある世界最大級の美術館、『○○○○○○○○○○美術館』。
 - ④ お笑いコンビ『カラテカ』の矢部太郎が実話をもとに描いた漫画、『○○○さんと僕』。
 - ⑤ テニスプレーヤー：大坂なおみ選手のお父さんは、○○○系アメリカ人です。
 - ⑥ 入社式での社長の○○○。
 - ⑦ なまけて眠ること。「○○○を貪る」
 - ⑧ 強力な平行光線を投射する、“○○○ライト”。
 - ⑨ 醬油の原料は、○○○・小麦・食塩。
 - ⑩ 船の速さの単位。
 - ⑪ 京都の陶芸家：長次郎は、“○○焼”的創始者です。

ヨコのカギ

- ① 秋に食べたい、温かく煮たそうめん。
 - ⑤ 1918年に富山から発生した、“○○騒動”。
 - ⑥ 日本語で「おいしい」、中国語で「○○ツー」
 - ⑦ 日本の産業革命を支えた石炭は、貴重なうえに利益をあげることから、その色を宝石にたとえて「○○○○○」と呼ばれていたそう。
 - ⑨ ギタリスト:ゲイリー・ムーアの名曲『パリの○○○○○』。
羽生結弦選手のソチオリンピックSPの曲でお馴染み。
 - ⑩ “紅茶のシャンパン”と呼ばれる、強い香りのインド原産の紅茶は？
 - ⑫ 蛑の○○、骨董○○。
 - ⑬ 「うまくゆくだろうと」考える、○○観的な人。
 - ⑭ 小さくまとめるこ。

ハガキにクイズの答えと、

お名前・ご住所・お電話番号を記入し、

〒699-1323 島根県雲南市木次町東日登228-

木次乳業 モーモータイムズ No.10係 宛に送ってください。

※応募の〆切りは2018年11月15日です。(当日消印有効)

※正解者の発表は賞品の発送をもってかうさせていただきます。

※せつかく当選されても、お電話番号の記入がないと賞品をお送りすることができません。

お電話番号のご記入をお忘れないよう、お願ひいたします。

●ご応募いただいた個人情報は、プレゼントの抽選および賞品の配達を目的にのみ使用させていただきます。

2018-No.8の答えは



Aハ **B**ン **C**モ **D**ツ **E**ク でした。